



バン型車安全輸送ニュース

冷蔵冷凍車の上手な使い方と安全輸送編

定温輸送・配送業務に従事されている皆様へ

- ・ 冷蔵冷凍車は常に品物の温度(品温)を一定に保ちながら輸送することを目的とした車両で、品物の品質を低下させないために常に過酷な環境下で輸送しています。
- ・ 冷凍機が正常に作動しているか、また品物が適切な温度に保たれているかの管理も重要です。
- ・ 車両の能力を十分に発揮するためには、**荷役作業、荷物の取り扱い等にも注意が必要です。**

冷蔵冷凍車の取り扱い上の注意

1) 駐車・停車は平らな場所で

- ① 坂道や凹凸のある場所では、荷崩れなどして積荷が飛び出したり正常なドアの開閉ができなくなる場合があります。なるべく傾斜面を避け、車両を平らな場所に駐車・停車してください。特に、ローラコンベヤ装着車やカーゴ積載車は、傾斜により積荷が走り危険です。ラッシングベルト等で積荷を確実に固定してください。



2) 積み込み前には積荷と庫内の予冷を

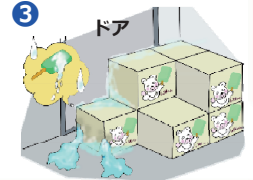
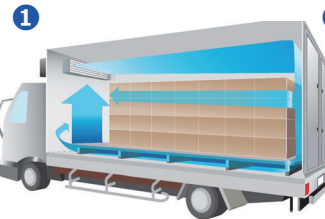
- ① 冷蔵冷凍車は、品物を積んだときの温度を保ちながら輸送するためのものです。積荷の品温を下げたり、凍結させる能力はありません。積荷と庫内は、予め輸送適温まで冷却することを必ず行ってください。

積荷は予め冷却設備で適温まで冷却してください。



3) 冷気の循環を考えた積み込みを

- ① 積荷は冷気がスムーズに循環するよう、庫内壁面に十分な隙間をあけてください。庫内を均一な温度に保つためには、冷凍機の冷気吹き出し口下部より上には積まないよう、十分に注意をしてください。冷気の吹き出し口や吸い込み口を積荷でふさぐと、冷凍機が正常に作動せず冷却不良となり商品事故になる恐れがあります。
- ② 呼吸熱を発生する積荷(青果物など)は、冷気の循環が悪いと中央部の温度が上昇し、品質を損なう原因になりますので特に注意してください。また、吹き出し口に近い積荷(青果物など)は、冷気で痛みが発生する恐れがありますので、予めシート等でカバーをする処置を行ってください。
- ③ 超低温域の冷凍品はドア付近に積み込みしないでください。ドアの開閉による温度上昇で冷凍品が解け商品事故になる恐れがあります。



4) 積荷の積み込みと積み降ろしは迅速に

- ① 冷蔵冷凍車のドアを開くと、外気が庫内に流れ込み温度が上昇します。積荷の積み込みと積み降ろしは素早く行うとともに、積荷を長い時間外気に放置しないようご注意ください。また車両から一時離れる場合は、ドアを必ず閉めるよう心がけてください。
- ② 冷蔵冷凍車のドアを長時間開いたまま荷役作業をしますと庫内温度が上昇し、庫内の結露で積荷を濡らしたり、湿気が凍り商品事故になる恐れがあります。
- ③ カーテン付の車両は、外気の侵入、庫内冷気の流出を防ぐ効果があります。庫内温度を保つために取付することをお勧めします。



「参考」積荷の積み込みと積み降ろしを効率よく安全に作業する為の装置(事例)

作業軽減補助装置(パレット搬送装置等)



荷役省力装置



※詳しくは安全輸送ニュースNo.4を参照してください。

(次ページ続く)

5) 積荷の積み込みと積み降ろしは安全第一を考えて

- 1 冷蔵冷凍車の床は、凍結や濡れで滑りやすくなっています。足を滑らせての転倒事故に注意してください。
- 2 荷台後端付近では背中を荷台の外側に向けて後ずさりしないでください。踏み外しによる荷台上からの落下・転落事故の原因になります。
- 3 庫内へ乗り込んでの積み降ろし時には、荷台昇降補助装置(ステップ、グリップ等)を使用して落下・転落事故を防止してください。

※詳しくは、[安全輸送ニュースNo4](#)を参照してください。



出典：厚生労働省ホームページ
『陸上貨物運送事業におけるトラック
荷台からの転落を防ぐために』
(厚生労働省)を加工して作成
(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_11809.html)

6) 車両はいつも清潔に

- 1 庫内は常に清潔にしておきましょう。食品を取り扱う上で、「清潔」はまず守られなければならない重要なポイントです。特に床面の清掃と排水口のつまり等の処理は丁寧に行ってください。塩分、脂肪分が付着したままにすると、非衛生的になるだけでなく、ボディの腐蝕にもつながります。
- 2 冷凍機の冷気吹き出し口や吸い込み口も常に清掃を行ってください。汚れやゴミが詰まると冷凍機の故障や不良の原因に繋がります。



7) 性能を低下させない早めの補修・修理を

- 1 性能を維持するために、冷蔵冷凍車及び冷凍機は日常点検してください。異常があれば早めにメンテナンス(補修・修理)してください。
- 2 庫内緊急ブザーは正しく作動するか日常的に確認することも忘れないでください。

※詳しくは、[安全輸送ニュースNo5](#)を参照してください。



8) その他注意したいこと

- 1 車両火災を未然に防止するため、冷凍機に使われる外部電源からの電源コードなどの切断や被覆の破損がないか日常点検してください。
プラグや電源コードに熱を感じた場合は、損傷の恐れがあるため使用を取りやめてください。
- 2 ドアの開閉時は、思わぬ事故を防ぐため、周りに物や人がいないかを確認して作業してください。ドアを閉じるときは、必ず庫内を確認してください。万が一庫内に人が閉じ込められると大変危険です。使用しないときは、必ずドアは施錠してください。子供が遊んでいて閉じ込められる恐れがあります。
- 3 積荷は必ず均等に積んでください。片荷は、走行安定性が悪くなり、横転事故や車両の破損の原因になります。積荷が不安定な状態のときは、ラッシングベルト等で固定してください。但し、ボディ損傷の可能性がありますので、必要以上の締めすぎには注意してください。
- 4 走行中はドレンホースからの「水のたれ流し」はしないようにしてください。「たれ流し」を行った場合には、行政上の指導を受けることになります。
- 5 半ドア状態で走行させないで下さい。途中でドアが開き、荷物が落下したり、ドアが人や物に当たる等の恐れがあります。
- 6 日差しの強いときはボディ外板が熱くなり、庫内温度を上昇させます。長時間駐車する場合には、できるだけ直射日光を避け日陰で風通しのよい場所を選んでください。



冷蔵冷凍車使用においては、車両に備付けの『取扱説明書』の内容も必ず確認してください。

冷凍機管理者(冷凍機所有者)の遵守事項について

・冷蔵冷凍車に使用されているフロンガスは「改正フロン排出抑制法」により大気放出を禁止されています。

・**フロン排出抑制法の責任者は管理者です。**

機器の簡易点検(3ヶ月に1回以上)やフロンガスの回収等について遵守されない場合は、法改正により行政指導などを経ることなく即座に刑事罰が適用されます。

詳細については各冷凍機メーカーまたは(一社)日本冷凍空調工業会ホームページをご覧ください。